

## 南イリノイ大学との相互交流(学生交換)をレポート

学生時代に海外の医学教育を体験し、実際の医療に触れることは医学生にとって大きな刺激になり、将来に向け有益な経験になります。本学では、米国南イリノイ大学 (Southern Illinois University, SIU) 医学部と学生交換を含む包括的な相互交流を行っています。同学部は、本学医学部とほぼ同時期の1970年に創設(州立の総合大学としては1869年)され、模擬患者(SP)、問題解決型学習(PBL)などの医学教育で数々の実績をあげています。今回の学生派遣事業は、これらを中心とする次の2つのプログラムからなっています。

### 臨床実習研修コース

6学年次生を対象としたこの派遣制度は、5学年次の3月から6学年次の5月にかけて約2ヶ月間、SIUの4学年次用臨床実習選択コースに参加します。これには高度な英語力と臨床実習能力が要求されます。



### SIU 2学年次カリキュラム受講コース

主に3,4学年次の学生が対象となり、春休みの約3週間を利用して、SIUの2学年次生のカリキュラムを受講する制度です。SIUの2学年次生と共に問題解決型学習(PBL)、チュートリアル講義、統合講義、臨床実技トレーニングなどを受講します。

この国際交流プログラムは、多くの学生に海外留学へのチャンスを作り、医学生の国際的視野を広げるばかりでなく、自ら学ぶ姿勢を身につけるのにも役立ちます。

医学部学術国際交流委員会委員長 横地高志

## 交換留学生(SIU学生)の紹介

こんにちは。南イリノイ大学から来ましたマット・シーベンスと申します。

今回、愛知医大で研修をさせていただいた3週間を通じて、違った文化の中で、研修を行うことは大変貴重な経験になりました。救命救急科から始まり、内科やリウマチ科で研修を行い、先生方には大変親切にいただきました。日本の医療システムや医学教育について学ぶことができ、コミュニケーションスキルと同様に臨床スキルが向上しました。

お世話になりました愛知医科大学の教職員の皆様には大変感謝しております。

SIU 4 学年次 Matt Sebens



# アメリカの医学教育を体験！！

## 僕が体験した SIU

4 学年次 ト部智晶

アメリカの医学部の制度は日本とは違って、まず4年大学を卒業してからでないと医学部を受けられません。日本では高校を卒業すれば、誰でも受験できるのでここが大きな違いです。そのせいもあってか、向こうの学生は、精神的に少し大人な気がしました。今回僕たちが参加したのはSIUの2年生の授業で、主にPBL (Problem based learning) 方式で、内分泌と一緒に勉強させていただきました。最初の一日目はとにかく”ショック”でした。僕自身SIUに行く前は、1年や2年でPBLを経験していたので「こんなもんだろう」と勝手に予想していましたが、いい意味で裏切られました。一緒にやっていて感じた事の一つ目に、みんなよく発言する、ということです。もちろん文化の違いのがあると思いますが、あまり発言しない人はほんの少数で大体は発言します。加えて、勉強しているな、とも思いました。SIUは他の医学部と違ってレクチャー方式の授業は少ないので、学生それぞれがしっかりと勉強しないといけません。又、学生の多くは自身で借金して医学部に来ている人が多いのにも驚きました。そのため、留年はほとんどなく、一日も早くドクターになって借金を返すため頑張っているようです。二つ目は英語です。みなさんも分かるかと思いますが、向こうではcommunication 手段は英語です。今でも思い出しますが、言いたい事を100%理解してもらうのは苦労しました。でも、SIUの学生達はとても親切で自宅に招いてくれるなど短期間で本当に仲良くなりました。最後に、僕をアメリカに連れて行ってくれた池田先生、横地先生、その他お世話になった多くの方々に感謝します。ありがとうございました。

## SIU 留学プログラムを通じて得たもの

5 学年次 蒲澤美代子

SIUでの授業は主にチューター授業が中心で、与えられた一つの症例についてその病気に関係する基礎科学的な知識から臨床的な事柄まで生徒自身が学習した事をグループで話し合うといったものでした。英語で自習を進めていかなければならないのは大変でしたが、自分のペースで勉強するというのは新鮮でしたし、また日本の大学のような大教室での講義授業も生徒の自習を補足するように上手く組まれており、生徒の自主性を重んじつつもそれをしっかりサポートしようとしている大学側の姿勢が感じられました。そのような環境の中で勉強できたことは自身の勉強の仕方を見直す足がかりになったような気がします。留学プログラムでは勉強が大きなウェイトを占めていましたが、あちらの学生と交流できるという魅力もありました。

また、SIUのあるスプリングフィールドはリンカーンゆかりの地という事もあって彼にまつわる名所を朝ジョギングしながら巡るというのも楽しかったし、週末に行ったシカゴには名作を多数所蔵する美術館やギャラリーがあり、また世界三大建築家であるフランク・ロイド・ライトが設計した美しい建築物も多数ありました。このようにSIU留学プログラムでは様々な経験をさせて頂きました。このような機会を与えて下さった先生方、および大学に感謝しています。

